



ふれあいネットワーク

ゆい

社協だより

2020年
4.23
No.58



認知症 地域で 見守り声かけ訓練

2月11日(火) / 庄内公民館 / 参加者103名
主催：由布市・由布市地域包括支援センター

由布市では、認知症の方やその家族が住み慣れたところで安心して暮らせる地域づくりを目指しています。

「声かけ訓練」では、地域の人が認知症に対する知識を深め、連携して見守りができるよう、認知症の方に声をかけ適切に対応し、安全に保護することを目的に年に1回開催しています。



もくじ

令和2年度事業計画・収支予算 …	2~3	令和元年度歳末たすけあい募金 …	8~9
福祉のひろば ………………	4	包括だより ………………	10
地域コーナー……………	5	寄付のお礼 ………………	11
ボランティアコーナー……………	6	お知らせ ………………	12
地域貢献事業紹介コーナー ……	7		



この広報誌は一部共同募金の配分金で発行されています。

事業計画

由布市社会福祉協議会の理念

私たちは、市民と協働して地域共生社会を目指し、子どもから高齢者までの人々がともに助け合い、安全で安心して暮らすことができるぬくもりのあるまちづくりを目指します。

経営方針

福祉関係者との連携を密にし、積極的に地域福祉を推進します。
愛と思いやりをもって、質の高いサービスを提供します。
市民の期待に応えられるよう提案型の事業経営を行います。

職員の 行動計画

市民から信頼される福祉の専門家を目指します。
市民の立場に立って行動する職員を目指します。
自らの職務に誇りと責任をもって前向きに取り組みます。
社会情勢の変化に対応できるよう自己研鑽に努めます。
ボランティア精神を養い社会貢献に努めます。

令和2年度 社会福祉法人由布市社会福祉協議会基本方針

日本では本格的な少子高齢化時代を迎え、進行する高齢者人口増加と生産年齢人口の減少に対する対応は大きな課題となっています。厚生労働省は、「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会」(以下、「検討会」という。)を設置し、すべての人々が地域、暮らし、生きがいを共に作り、高めあう「地域共生社会」の実現を目指し、具体的な施策の検討を行いました。

本会では、あらゆる生活課題への対応と地域のつながりの再構築に向けた事業活動を進めるために、「1. アウトリーチ(積極的に対象者の居る場所に向向いて働きかけること)の徹底」「2. 相談・支援体制の強化」「3. 地域づくりのための活動基盤整備」「4. 行政とのパートナーシップ」を基本方針に掲げ、事業の展開を図ってまいりました。その事業推進に当たり、社会福祉協議会が地域共生社会の中心的な担い手として十分にその役割を果たすことの必要性を再確認したところです。

令和2年度の重点事業として、特に、検討会の最終とりまとめに示された、地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築を推進するため、「断らない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に行う新たな事業の創設に向け、調査・研究し、地区社協設立に合せた事業を実施すべく、体制整備を図っていきます。

また、全国各地で頻発する大規模災害に備え、由布市災害ボランティアの育成等に努め、災害発生時の迅速な対応等に向けての体制強化を図ります。

なお、職場環境の改善に向け、職員のモチベーションを高め、働きやすい組織体制を構築します。

重点事項

I 法人運営体制の強化・確立

1. 「社会福祉法」や「働き方改革関連法案」改正等に対応した法人運営
2. 行政との緊密な連携、強化
3. 事業の効率運営と組織体制の整備
4. 職員の意識改革と資質向上
5. 介護保険事業運営についての調査・研究・見直し
6. コンプライアンス(法令遵守)の徹底

II 地域福祉の推進

1. 地域コミュニティと支え合いネットワークづくり
2. 地域支援ボランティアの育成・支援
3. 生活困窮者自立相談支援事業の推進
4. 障がい者相談支援事業の推進
5. 日常生活自立支援事業の推進
6. 地域福祉に関わる団体への活動支援
7. 地域福祉を推進する共同募金運動の展開
8. 市内社会福祉法人による地域貢献事業の展開
9. 「地区社協」設立のための説明会、設立支援
10. 由布市災害ボランティアの体制強化について
11. その他の福祉事業

III 在宅福祉課

1. 通所介護・日常生活支援総合事業・由布市提案型介護予防教室の実施
2. 居宅介護支援事業の実施
3. 訪問介護・日常生活支援総合事業の実施
4. 障害福祉サービスの実施
5. 配食サービス事業の実施
6. サービス向上のための職員スキルアップへの取組み
7. 介護関連事務基礎研修の徹底

IV 地域包括支援センター

1. 総合相談支援業務及び権利擁護業務事業
2. 包括的・継続的ケアマネジメント業務
3. 介護予防支援事業(ケアマネジメント)
4. 認知症初期集中支援推進事業
5. 認知症地域支援・ケア向上事業

収支予算

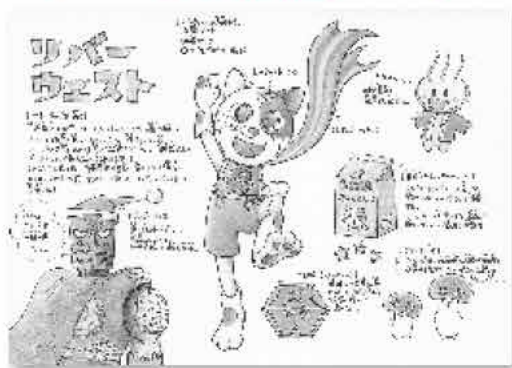
令和2年度 由布市社会福祉協議会 収支予算書

勘定科目	予算額
【事業活動による収支】	
会費収入	4,482
寄附金収入	3,740
経常経費補助金収入	60,066
受託金収入	113,697
貸付事業収入	288
事業収入	390
負担金収入	6,247
介護保険事業収入	115,631
障害福祉サービス等事業収入	6,683
受取利息配当金収入	38
その他の収入	825
事業活動収入計	312,087
人件費支出	238,390
事業費支出	49,575
事務費支出	15,329
貸付事業支出	300
共同募金配分金事業費	7,065
助成金支出	1,480
負担金支出	611
事業活動支出計	312,750
事業活動資金収支差額	△663

勘定科目	予算額	(単位：千円)
【施設整備等による収支】		
施設整備等収入計	0	
施設整備等支出計	1,111	
施設整備等資金収支差額	△1,111	
【その他の活動による収支】		
その他の活動収入計	2,060	
その他の活動支出計	286	
その他の活動資金収支差額	1,774	
予備費	0	
当期資金収支差額	0	

福祉のひろば

川西地区のキャラクターが
できました！



いつかあなたのところに、
正義のヒーロー「リバーウエスト」が
やってくるかも…

「わく、かわいい！」「これ、僕が考えたやつやん」…完成したマスコットキャラクターのイラストを見た子どもたちから歓声が沸きました。
川西の将来を考える会が、「川西の次世代を担う子どもたちが、川西に愛着と誇りを持ち、川西で暮らす人々がお互いの絆と連帯感を大切に、強め合うシンボルとして、マスコットキャラクターを作成する」との目的で、川西小学校の子どもたちにキャラクターのイラスト案を依頼したのが去年の暮れのことでした。子どもたちは冬休みを利用して、家族と一緒に個性的で素敵なキャラクターのイラスト案をたくさんかいてくれました。そのイラスト案を基に、川西のマスコットキャラクター「正義のヒーロー」リバーウエスト」が完成しました。(名前の由来は、川西を英語にしたものです。)

川西の将来を考える会
「マスコットキャラクター発表会」

2月18日(火) 川西小学校

毎年 **5月12日**は
民生委員・児童委員の日です

「民生委員・児童委員の日」について

全国民生委員児童委員協議会(当時)は、昭和52年(1977年)に、毎年5月12日を「民生委員・児童委員の日」とすることを決めました。これは、大正6年(1917年)5月12日に岡山県済世顧問制度設置規程が公布されたことに由来するものです。

民生委員・児童委員は、人びとの笑顔、安全、安心のために、それぞれの地域において関係機関と連携し、さまざまな取り組みを推進しています。



会員募集

由布市身体障害者福祉協議会連合会では会員を募集しています。身体障害者手帳をお持ちの方で、一緒に活動をしてくださる方は、各社協事務所にある事務局までご連絡ください。

会員の健康維持と交流を目的に室内レクリエーション大会が開催されました。血圧測定をした後、輪投げや囲碁ボールなど体を動かし、ゲームと会話を大いに楽しみ親睦を深めました。

由布市身障協湯布院支部

「ふれあいの集い」

2月25日(火) 湯布院福祉センター

社協役員・自治委員
意見交換会

由布市社会福祉協議会では、地域の声を聴く場として、社協役員と地域の自治委員さんとの意見交換の場を設けています。

新年度も引継ぎ、地域の声を聴き、また、社協事業への理解とご協力をお願いする場として、意見交換会を開催いたします。

誰もが安心して暮らせる由布市を目指すために、皆様のご協力をお願いいたします。

由布市社会福祉協議会
福祉推進費助成について

由布市社会福祉協議会では、地域での福祉推進の一助としていただくために、各自治区へ年に1回「福祉推進費」を助成しています。使途につきましても、各地域の実情に応じた活用をしていただくために、各自治区の判断にお任せしています。

これからも地域福祉推進のために、福祉推進費を「地域の福祉に関わること」にご活用ください。

【活用例】 敬老会や子供会の催しの運営費用、福祉推進員の手当て(一部又は全部)等



地域コーナー

お茶の間サロン交流会及び

令和2年度事業説明会

2月3日(月) ほのぼのプラザ市民交流室

お茶の間サロン交流会では、登録57団体のうち4団体の活動風景を放映し、数名のグループに分かれ、具体的な取組状況や困りごとなどの意見交換を行いました。

その後、令和2年度お茶の間サロン事業について、生活支援コーディネーターと由布市の担当者が説明を行いました。新年度から新たに、「送迎サービス補償保険の導入」「健康応援団のコース設定」などが始まります。

湯布院地域

支え合い推進会議

2月7日(金) 湯布院福祉センター

湯布院地域の支え合い推進会議では、いくつになっても住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくりを行うことを目的に、住民同士でできる支え合いについて話し合いを重ねてきました。

まずは、健康維持や閉じこもり解消などに向け、各ブロックで交流の場(サロン・多世代・老人会他)への参加の声掛けに取り組んでいきます。



庄内地域支え合い推進会議活動

“昔遊び”の多世代交流会

2月16日(日) 庄内公民館

「右、左、ゆっくりでいいよ。右…左…いいぞ、その調子！」おじいちゃんが小学生の孫が乗る竹馬を支えながら乗り方を教える、ひと昔前は、地域で見かける風景でした。

庄内地域支え合い推進会議では、今年度、多世代交流を目標とし、活動を行ってきました。今回は、由布市社会福祉法人施設経営者協議会が開催している「ゆふ支え合い」ことも食堂(庄内会場)で、参加者と昔遊びを通じた多世代交流会を行いました。

“昔遊び”では、お手玉、竹馬、竹ぼっくり、独楽(コマ)を行い、最初は教えてもらいながら恐る恐る遊んでいた子どもたちも、次第に慣れてきて、自分だけの力で遊べるようになりました。それでも独楽は難しく、初めて自分の力で回せた時の、子どもの嬉々とした表情と、それを喜ぶお母さんの表情がとても印象的でした。

終了後は、推進会議の皆さんから、「楽しかった。このようなことが地域で普通にできるようになるといいな。」との意見が聞かれました。

多世代交流を終えて

昼食のカレーを食べて、室内遊びは折り紙、お手玉、けん玉、神楽殿の前で竹馬、竹ぼっくり、竹トンプ、独楽(こま)回しでの交流がありました。

昔の遊びが上達するにつれて、目の輝きが増してきました。教える側の大人も笑顔が絶えず、楽しいふれあいの場ができました。準備段階からご協力いただいた役員さんや、この会のために時間を割いて参加してくださった皆様に感謝申し上げます。

庄内地域全体でのイベントは頻繁には難しく、今後は身近なところ(例えば旧小学校区)で多世代交流の場を持つことができなものかと考えているところです。

庄内地域支え合い推進会議

委員長 大塚 勝正

読者投稿コーナー

自然豊かな由布市には、素敵な景色がたくさんあります。残念ながら紙面上は白黒ですが、お散歩ついでに外へ出かけて色づいた景色を眺めてみませんか。新しい出会いや発見があるかも♪

※お出かけの際は、感染症対策をし、体調に十分お気をつけください。



『梅とメジロ(下武宮)』

撮影：齊藤石雄氏

『七つ星と桜と菜の花(南由布)』



『社協だより』に記事を載せてみませんか。

地域のイベント、日々感じていることなど、なんでもOK！掲載を希望される方は、社協の各事務所「社協だより担当」まで記事をお送りください。皆さんからの投稿をおまちしています。

地域コーナー

ごきんじょ 互近助コミュニティの推進

由布市社協では、平成30年4月から法制化され、国・県が取り組みを推進しています「地域共生社会」を実現するため、令和2年度から行政区・小学校区等を基本にした「互近助コミュニティ」の設立・運営を支援します。「互近助コミュニティ」は、地域住民の支え合う気持ちで日常生活のちょっとしたお手伝いや見守りなど、地域の困りごとを“その地域全体で解決していくしくみ”をつくり、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるまちづくりを目指します。

詳しくは、地域へお邪魔してお話させていただきたいと考えております。ご希望される地域は下記までご連絡ください。

問合せ先

由布市社会福祉協議会 本所 地域福祉課
TEL097-582-2756 (担当：森山・古後)

住民の声が届く組織づくり (互近助コミュニティのイメージ)



手作りマスク寄贈

地域づくり協議会 ゆふのあい(一ノ瀬チズ子代表)が、200枚の手作りマスクを寄贈してくれました。

「材料の布もゴムも店頭になく、お寺(正徳寺)に協力をお願いしたり、サロン活動時の余った材料でなんとか作ることができた。」とのこと。貴重な材料で作っていただいたマスクを大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



ボランティアコーナー

ボランティア保険のススメ

ボランティアの活動中や、活動場所への往復の途上での、ケガをしてしまった！人にケガをさせてしまった！物を壊してしまった！そんな万が一の事故を補償する保険です。ボランティアに参加する際や、行事を主催する際のケガや事故などのリスクの備えとして、保険への加入をおすすめします。

ボランティア活動保険

補償期間：加入日から翌3月31日

日本国内の無償ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償します。

基本プラン	天災・地震補償プラン
350円	500円

ボランティア行事用保険

補償期間：行事の日

地域福祉活動やボランティア活動の一環として、国内で行われる各種行事の際のケガや賠償責任を補償します。

※保険料は、参加人数や行事によって異なります。

送迎サービス補償

補償期間：加入日から翌3月31日

移送・送迎サービス時に、利用者または特定した自動車搭乗中のケガを補償します。

Aプラン	Bプラン
1日・1名につき 20円	法定乗車定員1名 2,000円

※Aプラン…送迎サービス利用者

Bプラン…特定した自動車搭乗中の利用者・同乗者

詳しくは 社会福祉協議会 各事務所まで、お気軽にお問合せ下さい！



由布市社会福祉法人施設経営者協議会による「地域貢献事業」

子どものふるさと愛着事業

ゆふいん湯歩(WAONカード)贈呈 郷土芸能部支援金贈呈

3月5日、市内3中学校卒業生274名に配布

今年度は新型コロナウイルスの影響で全国の小・中・高校が休校となり卒業式も出席者を限定して行われました。

本事業も感染防止に配慮し、市内3中学校に、卒業式の前日の3月5日に校長先生、教頭先生に卒業記念品として「ゆふいん湯歩WAONカード」1,000円分を贈呈しました。



※「ゆふいん湯歩WAONカード」は由布岳をバックに大分川の両岸に桜と菜の花が咲き誇るデザインとなっています。

全国どこでも利用しても、利用金額の一部が「由布市みらいふるさと基金」に寄付され、由布市の自然環境活動に活用されます。

子どものふるさと愛着事業って？

- 市内の中学校卒業生全員に由布市に永年の愛着をもってもらうために、由布市の風景がデザインされた「ゆふいん湯歩WAONカード」(チャージ式電子マネーカード)1,000円分を贈呈します。
- 市内唯一の高校である由布高校の郷土芸能部の更なる普及・育成を図るために、衣装代等に対する支援金10万円を贈呈します。



3月25日 大分県立由布高校郷土芸能部

今年度も全国高校総合文化祭郷土芸能部門で2位にあたる文化長官賞に輝いた由布高郷土芸能部。新型コロナウイルスの影響で高校への立ち入りが自粛となりましたが、無事に支援金10万円を贈呈することができました。今後も郷土芸能部の活躍と庄内神楽の魅力が広がるよう願っています。



ゆふ支え愛こども食堂休止のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間、開催を休止いたします。毎月楽しみにしていただる皆様には、ご迷惑をおかけしますが、何卒ご協力・ご理解のほどよろしくお願いいたします。

再開の目途がつかましたら、ポスター、チラシ等でお知らせします。皆でこの新型コロナウイルスを乗り越えよう！



寄付のお礼

次の方から、お米や野菜等の寄付をいただきました。食材として活用させていただきます。ありがとうございました。

●桑原 初子 (敬称略)

令和元年度「歳末たすけあい募金運動」にご協力ありがとうございました



昨年12月に実施いたしました「歳末たすけあい募金」は、由布市共同募金委員会審査委員会での審査後、次ページのように配分いたしました。

ご報告いたしますとともに、ご協力いただきました皆様へ厚く御礼申し上げます。

挟間							
高崎	15,600円	海老毛	6,900円	向原	48,700円	谷東部	18,200円
山口	3,000円	丸田	12,900円	中村	34,100円	山田	4,800円
七蔵司	8,100円	東行	3,900円	柏野	27,000円	東ノ山	7,800円
中台	5,000円	朴木下	9,600円	鬼瀬	11,700円	中恵	10,200円
来鉢東部	17,300円	朴木上	9,800円	池ノ上	7,200円	酒野	11,400円
来鉢中部	16,200円	医大二	1,000円	茅野	2,700円	上筒口	8,400円
来鉢西部	6,900円	医大三	40,000円	時松	8,200円	下筒口	8,100円
北田代	5,700円	サントピア古野	73,000円	喜多里	20,700円	田ノ小野	14,100円
南田代	11,100円	下市	85,000円	サニータウン挟間	22,600円	同尻	31,800円
詰	11,100円	北方	57,940円	雇用促進住宅	0	生田原	9,900円
三船	15,000円	宮田	8,400円	谷中村	9,900円	戸別募金	1,162,240円
古野	136,900円	上市	96,300円	小野	5,100円	街頭募金	
古野郷	20,000円	鶴田	58,700円	阿鉢	9,600円	窓口に寄せられた募金	1,014,207円
赤野	59,900円	鬼崎	19,200円	篠原	15,600円	合計	2,176,447円
庄内							
畑田	29,200円	中武宮	5,000円	原中	2,100円	高津透内	10,200円
みどり住宅	12,300円	上武宮	13,500円	井出下	6,000円	久保	23,400円
猪野竹の下	7,500円	藁草	23,500円	上重	5,100円	瀬口	7,500円
長野	19,200円	柿原一区	23,100円	直野内山	9,300円	中尾	6,000円
葛原	3,300円	柿原二区	27,000円	大龍東部一区	36,900円	宗寿寺	4,500円
佐平治	6,300円	野畑三区	10,500円	大龍東部二区	27,500円	竹の中	8,100円
橋爪	14,100円	野畑四区	9,900円	大龍西部	19,200円	影戸	5,100円
甲斐田	8,400円	湧五区	20,100円	五ヶ瀬	27,900円	柚の木	8,700円
宇南水足	11,700円	湧六区	17,400円	龍原	21,900円	小挟間	7,800円
小松台	3,000円	湧七区	8,100円	ドリームタウン五ヶ瀬	9,300円		
深谷	7,800円	日ケ暮	3,000円	櫛木	16,400円		
雲取	13,100円	永十	4,500円	五福	21,600円	戸別募金	728,100円
小原	26,400円	伊小野	3,000円	蛇口	19,200円	街頭募金	14,034円
東家	24,900円	高津原	5,400円	長宝団地	19,100円	窓口に寄せられた募金	306,522円
平石	13,200円	栢の木	4,800円	なごみの里	5,100円	募金箱	882円
下武宮	5,700円	中村	3,300円	小野屋	12,000円	合計	1,049,538円
湯布院							
塚原	15,300円	新町1	29,700円	中依	7,500円	湯平2	8,100円
津江	24,300円	新町2	18,600円	下依	14,800円	湯平3	7,800円
岳本	31,500円	荒木	15,600円	前徳野	9,000円	畑	13,900円
湯の坪	37,500円	石武	23,400円	内徳野	3,900円	小平	6,600円
中島	14,400円	光永	9,300円	槐木	1,500円	幸野	18,900円
佐土原	6,800円	東石松1	9,900円	畑倉	3,900円	水地	4,800円
並柳	13,800円	東石松2	23,100円	奥江	3,000円		
若杉	7,200円	東石松3	25,700円	上津々良	8,400円		
乙丸1	20,900円	西石松	17,100円	下津々良	7,800円	戸別募金	570,300円
乙丸2	18,300円	山崎	18,300円	鮎川	10,500円	窓口に寄せられた募金	278,800円
乙丸3	47,800円	平	1,800円	湯平1	9,600円	合計	849,100円

令和元年度合計(挟間・庄内・湯布院)	4,075,085円
平成30年度繰越	1,946,825円
合計	6,021,910円

歳末たすけあい募金運動で

窓口に募金を寄せてくださった団体・個人 (敬称略)

庄内

由布市立東庄内小学校	木 埋 学 園
由布市立西庄内小学校	あ な み 保 育 園
由布市立庄内中学校	緑 の 家
大分県立由布高等学校	山 家 学 園
庄内駅前郵便局	久 保 更 生 園
寿 楽 苑	庄内厚生館グループホーム
慶 寿 苑	希 望 の 家
小 松 寮	デイサービスセンター長宝
寿 永 会 本 部	庄内厚生館給食管理室
西 庄 内 保 育 所	有料老人ホーム ゆふ
由 布 市 役 所	介護保険サービスセンターゆふネット
由 布 市 商 工 会	庄内厚生館法人事務局
向 陽 学 園	社 協 職 員
情和園職員互助会	募 金 箱
ひばりこども園	

挾間

岡 幸 正
由布市役所挾間庁舎職員
柏 野 老 松 会
社 協 職 員

湯布院

湯布院町文化芸能振興会
二 鶴
鳥やす杯ゴルフコンペー同
聖 愛 保 育 園
湯布院町青少年ボランティアサポートセンター
ちよぼらクラブ
社 協 職 員

募金の配布先

配布対象区分	全 体	
	数	金 額
75歳以上の独居高齢者	854	2,562,000円
在宅寝たきり者	26	78,000円
母子・父子世帯	148	444,000円
被災世帯	0	0円
まごころ弁当	783	548,100円
地域ふれあい事業	3	150,000円
生活困窮者	6	8,683円
防災用品購入費用	9	82,884円
HPバージョンアップ費用	1	330,000円
諸 経 費		44,309円
次年度へ繰越		1,773,934円
合 計	1,830	6,021,910円



湯布院町文化芸能振興会



由布市ボランティア連絡協議会



～じぶんの町を良くするしくみ～
赤い羽根共同募金

令和2年度
**赤い羽根共同募金の
助成事業を公募します。**



応募対象

福祉活動を自己資金のみで行うことが難しい自治会・由布市所在の団体

例えば

- 三世代交流(昔の遊び・おやつ)作りを高齢者から教わる
- 防災訓練等を地域でおこなう
- 防災パトロールの資材購入

問合せ先 由布市共同募金委員会事務局
(由布市社会福祉協議会内
担当: 古後 浩)

募集期間 2020年5月7日(木)～
2020年6月5日(金)

助成金額 5万円(以内)

助成決定

審査委員会で助成の可否
を決定いたします。

問い合わせ

由布市共同募金委員会
TEL097-582-2756

こんにちは！ 地域包括支援センターです！

お気軽に
ご相談
ください！



ほうかつ
ご持たより

地域包括支援センターとは？

市町村や介護・医療・福祉の関係機関などと協力して、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して生活をするができるように支える機関です。

介護保険法に位置づけられており、設置主体は市町村ですが、由布市では社会福祉協議会が委託を受けて運営しています。原則として、主任ケアマネジャー・保健師・社会福祉士が在籍し、それぞれの専門性を活かしながら連携・協働し、“チームアプローチ体制”で対応しています。

また、認知症初期集中支援チーム員や認知症地域支援推進員の業務にも取り組んでいます。



“困ったなあ…”と一緒に考えます

- 介護保険を利用したい
- どんなサービスがあるの？

- 物忘れが多くなってきて不安
- 近所の人の様子が最近気になる



- お金の管理や契約が不安になってきた
- 成年後見制度って何？

など…

由布市地域包括支援センター

由布市庄内町庄内原321番地4
(由布市ほのぼのの工芸館)

TEL097-582-0106 FAX097-582-0108

由布ささえんジャー



開所時間

月～金曜日
(祝日を除く)
8:30～17:15

寄付の

お礼

市民の皆様のおかげで、ご芳志に感謝申し上げます。

由布市社会福祉協議会へ次の方々から香典返し等ご寄付をいただきました。紙面をもって厚くお礼申し上げます。

ご寄付は地域福祉推進のため有意義に活用させていただきます。お名前及び寄付金額等の記載につきましては、ご本人の意向に沿っての掲載とさせていただきます。

令和2年1月1日～令和2年3月31日までの受付分を記載しています。

香典返し (敬称略)

挾間

佐藤 公人	中 村	金	一	封
首藤 康志	谷 東部	金	一	封
後藤 明	向 原	金	一	封
佐藤 頼寿	上 筒口	金	一	封
下川 洋一	七 蔵司	三〇、〇〇〇	円	封
高田のり子	下 市	金	一	封
大久保吉実	来 鉢東部	金	一	封
安部 隆美	柏 野	三〇、〇〇〇	円	封
穴井 公典	古 野	五〇、〇〇〇	円	封
阿南 栄治	小 野	金	一	封
安藤 克弥	下 筒口	金	一	封
工藤 靖之	酒 野	金	一	封
佐藤 悦子	鶴 田	五〇、〇〇〇	円	封
田中 恵子	鶴 田	金	一	封
二宮 正男	話	三〇、〇〇〇	円	封



庄内

永松 秀男	大 龍	金	一	封
大野ツタコ	平 石	金	一	封
伊藤 正秀	阿 蘇野	二〇、〇〇〇	円	封
佐藤 恵美子	西 長宝	金	一	封
佐藤 靖司	高 岡	金	一	封
加藤 淳一	櫛 木	金	一	封
佐藤 吉人	長 野	三〇、〇〇〇	円	封
竹田 和美	柿 原	金	一	封
大久保嘉治丸	阿 蘇野	金	一	封
高山 光彦	三〇、〇〇〇	円	封	
麻生 政剛	庄 内原	金	一	封
小山 由紀	柿 原	金	一	封
渡邊 幸子	柿 原	金	一	封
大久保臣忠	高 岡	三〇、〇〇〇	円	封
佐西 由次	南 大津留	金	一	封
首藤 拓	南 大津留	金	一	封



寄贈：車いす

【庄内中学校生徒会】

毎年空き缶を回収し、寄贈していただいています。ありがとうございます。大切に使用させていただきます。

湯布院

阿南 雄二	川 上	三〇、〇〇〇	円	封
長谷川任司	川 南	五〇、〇〇〇	円	封
山崎 寛	湯 平	三〇、〇〇〇	円	封
溝口 洋介	川 上	三〇、〇〇〇	円	封
御手洗宗明	川 西	金	一	封
田代 博文	川 西	三〇、〇〇〇	円	封
匿名 中	川 西	金	一	封



寄贈：クリスマスローズ

【湯布院地域の方】

完全
予約制

由布法律相談センター

相談料は直接弁護士へお支払いください。相談内容によっては相談料が無料になる場合があります。詳しくは大分県弁護士会へお問合せください。

今年度も大分県弁護士会が運営する「由布法律相談センター」が下記のとおり開設されます。ご相談を希望する方は、大分県弁護士会へ事前予約のうえ、会場へお越しください。

日程	時間	会場
毎月 第2水曜日	13:30~15:30	ほのぼのプラザ相談室(社会福祉協議会本所内)
毎月 第4木曜日	13:30~15:30	湯布院福祉センター(社会福祉協議会湯布院事務所内)

予約・問合わせ先

大分県弁護士会 TEL: 097-536-1458

新人職員紹介



後藤 悦子
在宅福祉課
通所介護



大津 敬子
在宅福祉課
通所介護



半澤 友樹
地域福祉課
(本所)



生野 典子
包括支援センター



内田 竜子
包括支援センター



住友 晴美
包括支援センター

親子ふれあいツアー

- 日時** 8月2日(日)(仮) 
- 行き先** 城島高原パーク(仮)
- 対象者** 母子・父子世帯の親子
(高校生まで)
- 参加費** 無料
- 申込先** 地区の民生委員児童委員
- 問合せ先** 本所 地域福祉課
TEL: 097-582-2756

令和2年度 社協会員加入のお願い

社会福祉協議会の福祉事業は、皆様方よりお寄せいただいた会費、寄付金などを財源として行われております。

誰もが安心して暮らせる地域であるように、本年度も社会福祉協議会の事業をご理解いただき、ぜひ会員としてご加入いただきますようお願い申し上げます。



- 一般会員 1口 500円以上
- 特別会員 1口 3,000円以上
- 法人会員 1口 10,000円以上

問合せ：本所 地域福祉課（担当：森山）

心配ごと相談 **無料**

例えば
こんな
相談

- 暮らしや住まいに関すること
- 家族に関すること
- 健康や医療に関すること

社会福祉協議会では各種相談を受け付けています。どんな悩みでも結構です。お気軽にご相談ください。秘密は厳守いたします。相談内容によっては専門機関を連携し、解決を図ります。

日 程	時 間	場 所
毎月第2木曜日	9:00~12:00	由布市役所挟間庁舎3階(社会福祉協議会挟間事務所)
毎月第2火曜日	9:00~12:00	ほのぼのプラザ(社会福祉協議会本所)
毎月第2木曜日	13:00~16:00	湯布院福祉センター(社会福祉協議会湯布院事務所)

※日程が変更になりました。ご相談の際は日程をご確認の上、ご来所ください。

発行 社会福祉法人 **由布市社会福祉協議会**

本 所 〒879-5434 由布市庄内町庄内原365番地1
庄内事務所 TEL 097-582-2756 FAX 097-582-2878

挟間事務所 〒879-5502 由布市挟間町向原128番地1
由布市役所挟間庁舎3階
TEL 097-583-4344 FAX 097-583-1041

湯布院事務所 〒879-5102 由布市湯布院町川上2863番地
TEL 0977-84-3610 FAX 0977-85-4921

★★★ 編集後記 ★★★

今年は新型コロナウイルスの影響で、遠出をしての桜の花見をすることができなかったため、家で桃とシャクナゲを見ながら花見をしようと思います。

まだまだ、終息の気配がありませんが、少しでも感染拡大を抑えられるよう、こまめに手洗いを行い、3つの「密」(密閉空間・密集場所・密接場面)を避け、できる限りの予防を行いたいと思います。

皆様も体調にお気を付けてください。(佐)